



ユーザーマニュアル

Elo Touch Solutions ET3204L/ET4304L/ET5054L/ET5554L/ET6554L IDS ディスプレイ



本書のいかなる部分も、Elo Touch Solutions, Inc. の書面による事前の許可なく、いかなる形式・手段（電子的、磁氣的、光学的、化学的、手動的、その他の手段を含む）によっても、複製、送信、複写、検索システムへの記録、またはいかなる言語あるいはコンピュータ言語への変換も行うことはできません。

免責事項

本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。Elo Touch Solutions, Inc. およびその関係会社（「Elo」と総称します）は、本書の内容に関して何らの表明も保証もいたしません。特に、本製品の商品性および特定目的への適合性について、いかなる暗示的保証もいたしません。Elo は、他者に対する事前通知の義務を負うことなく、適宜、本書の内容を改定・変更する権利を有しています。

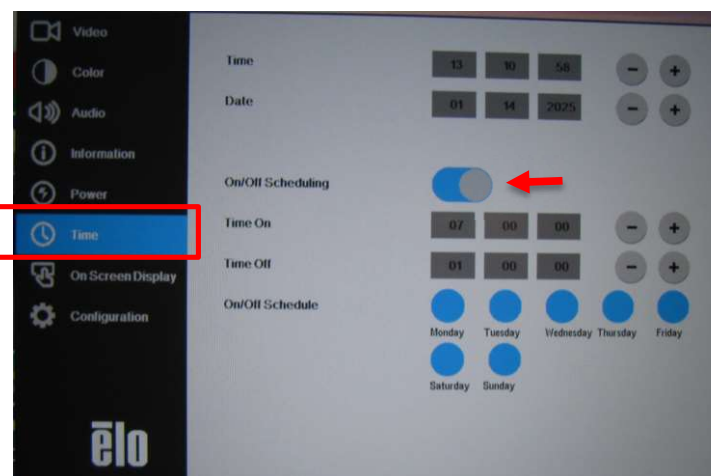
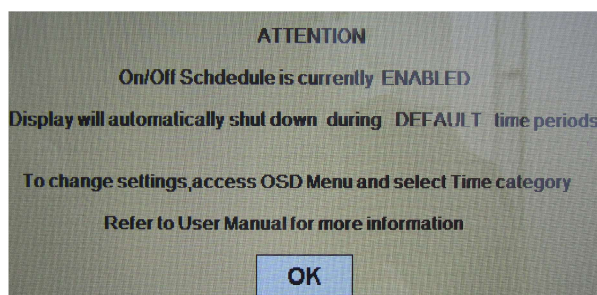
商標について

Elo、Elo (ロゴ)、Elo Touch、Elo Touch Solutions、EloView は、Elo およびその関連会社の商標です。

注意

起動時に以下のような英文「ATTENTION」が表示される場合があります。これは、スケジュールで ON に設定された時間のみディスプレイが ON するというスケジュール機能が有効(Enable)になっており、デフォルト設定のスケジュールが OFF の時間はディスプレイを OFF にする、という警告です。

ディスプレイ ON/OFF のスケジュール機能を使用されない場合は、OSD メニューの「Timer」設定で、「On/Off Scheduling」を無効(Disable)（ボタンを左にする）に設定して下さい。詳細は 22 ページ以降を参照してください。



目次

1 章: はじめに	4
2 章: 開梱.....	5
3 章: IDSX4 ディスプレイの設置	6
4 章: 取り付け情報	17
5 章: 操作.....	20
6 章: メンテナンスに関する情報	32
7 章: 技術サポート.....	33
8 章: 規制情報	34
9 章: 保証内容	39
10 章: 付録 A	40

1 章: はじめに

製品説明

新しいインタラクティブデジタルサイネージ ET3204L/ET4304L/ET5054L/ET5554L/ET6554L(以下 IDSX4 ディスプレイ)は、Elo Touch Solutions の信頼性の高いタッチスクリーン技術(投影型静電容量方式あるいは赤外線走査方式) と最新のディスプレイ技術を組み合わせて設計されています。

IDSX4 ディスプレイは、8 ビット色 (ET3204L および ET4304L) あるいは 8 ビット+FRC (ET5054L/ET5554L/ET6554L)の、アクティブマトリクス薄膜トランジスタ液晶パネルを搭載し、優れたディスプレイ性能を提供しています。

ET3204L と ET4304L は FHD 解像度 (1920 x1080) 、ET5054L,ET5554L 及び ET6554L は 4K 解像度 (3840 x2160) に対応しています。

本 IDSX4 ディスプレイの性能を強化する機能として、プラグ&プレイ互換性、内蔵スピーカー、ヘッドフォン出力機能、タッチ OSD (オンスクリーンディスプレイ) 制御及びオプションのコンピューターボックスなどがあります。

注意事項

本ユーザーマニュアルで推奨されるすべての警告、注意事項およびメンテナンスに従うことで、ご利用の装置の寿命を最大化し、ユーザーの安全に対するリスクを避けることができます。

健康および安全のため、これらの IDSX4 ディスプレイ は、少なくとも 2 人で取り扱い、持ち上げ、および/または、移動することを強く推奨します。

本マニュアルには、IDSX4 ディスプレイの適切なセットアップと保守に関する大切な情報が含まれていますので、特に、設置、取り付け、操作の章を注意してお読みの上、IDSX4 ディスプレイ をセットアップして電源を入れてください。

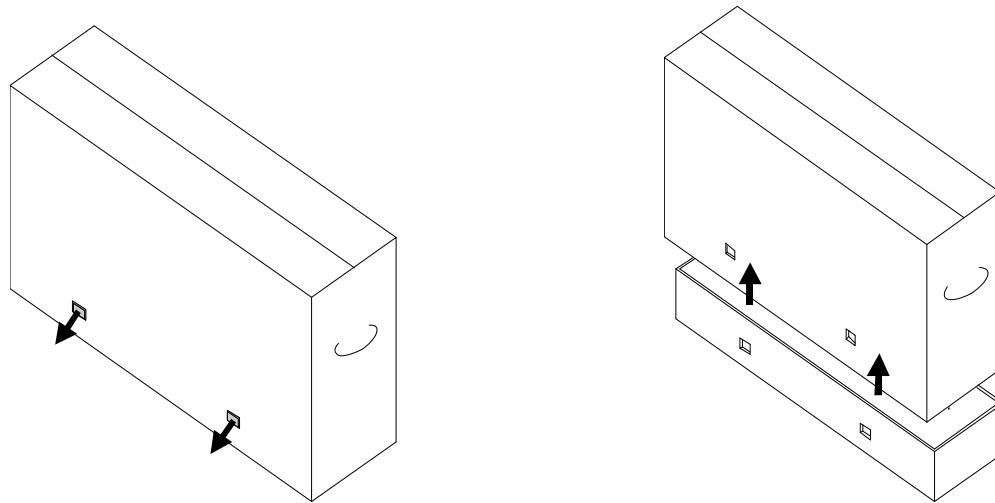
投影型静電容量方式タッチパネルの場合、タッチする面近くに金属などの導電性の高いものを配置すると、タッチに影響する場合があります。少なくとも 10mm 以上は離して配置して下さい。

2 章: 開梱

IDSX4 ディスプレイの開梱

IDSX4 ディスプレイ を開梱する場合は、以下のステップに従ってください。

1. 梱包箱をラベルの向きに置いてください。ヒンジ付きプラスチック製ロックは「底」にあります。
2. 4 ～ 6 つのヒンジ付きプラスチック製ロックすべてを解除して、取り外します。
3. ロックを取り外し、底枠から梱包箱の上蓋を持ち上げます。



4. 上蓋を取り外すと、IDSX4 ディスプレイ およびアクセサリボックスにアクセスできるようになります。

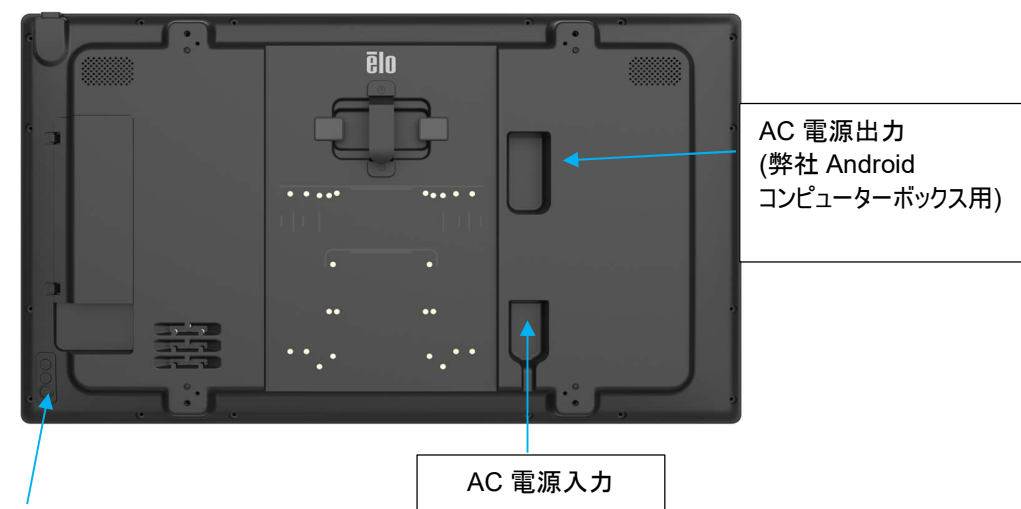
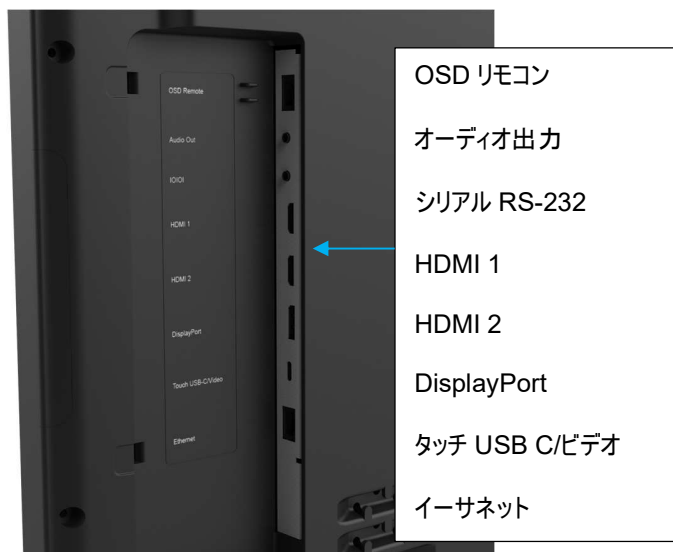
ボックスに以下が含まれていることを確認します:

- IDSX4 ディスプレイ 1 台
- クイックインストールガイド 1 式
- AC 入力電源ケーブル 1 本
- 3P-2P アダプタ 1 個
- コンピューターボックス用 AC 出力電源ケーブル、IEC 60320-C14 - IEC 60320-C5 (0.3m) 1 本
- USB C ケーブル (タイプ C プラグ - タイプ C プラグ、1.0m) 1 本
- M4x6mm 皿ネジ x4 本 備考)他社 STB 固定用
- EU 規制 2019/2013 に従うエネルギーラベル、EU EEI x 1 個、UK EEI x 2 個及び注意書き (On/Off Schedule 注意を含む) 一式
- HDMI ケーブル (HDMI-2.0, TYPE-A-to-A, 長さ 1.8m) 1 本
- Touch 用 USB ケーブル (USB TYPE-A-to-C, 長さ 1.8m) 1 本
- ET6554L の場合のみ: スペーサキット 1 式 (24mm スペーサ 4 個)

3 章: IDSX4 ディスプレイの設置

コンピュータへの接続

1. 同梱 USB ケーブル (USB C - USB C) を IDSX4 ディスプレイとホスト PC の間に接続します。
注: IDSX4 ディスプレイ の USB C ポートは、USB2.0 プラスビデオ入力のみをサポートします。Power Delivery および USB3.0 はサポートされていません。
2. ホスト PC が USB C ビデオ出力をサポートしていない場合は、ビデオ信号ケーブル (HDMI または DisplayPort) を接続します。
また、ホスト PC が USB-C ポートを持っていない場合は、USB-A to USB-C の Touch 用 USB ケーブルを使って、ホスト PC に接続して下さい。
3. 電源コードを AC コンセントと IDSX4 ディスプレイ 背面の AC 電源入力コネクタに接続します。
4. 電源ボタン、OSD メニューボタン、ビデオ選択ボタンを含む背面のサイドボタンは右側下ににあります。



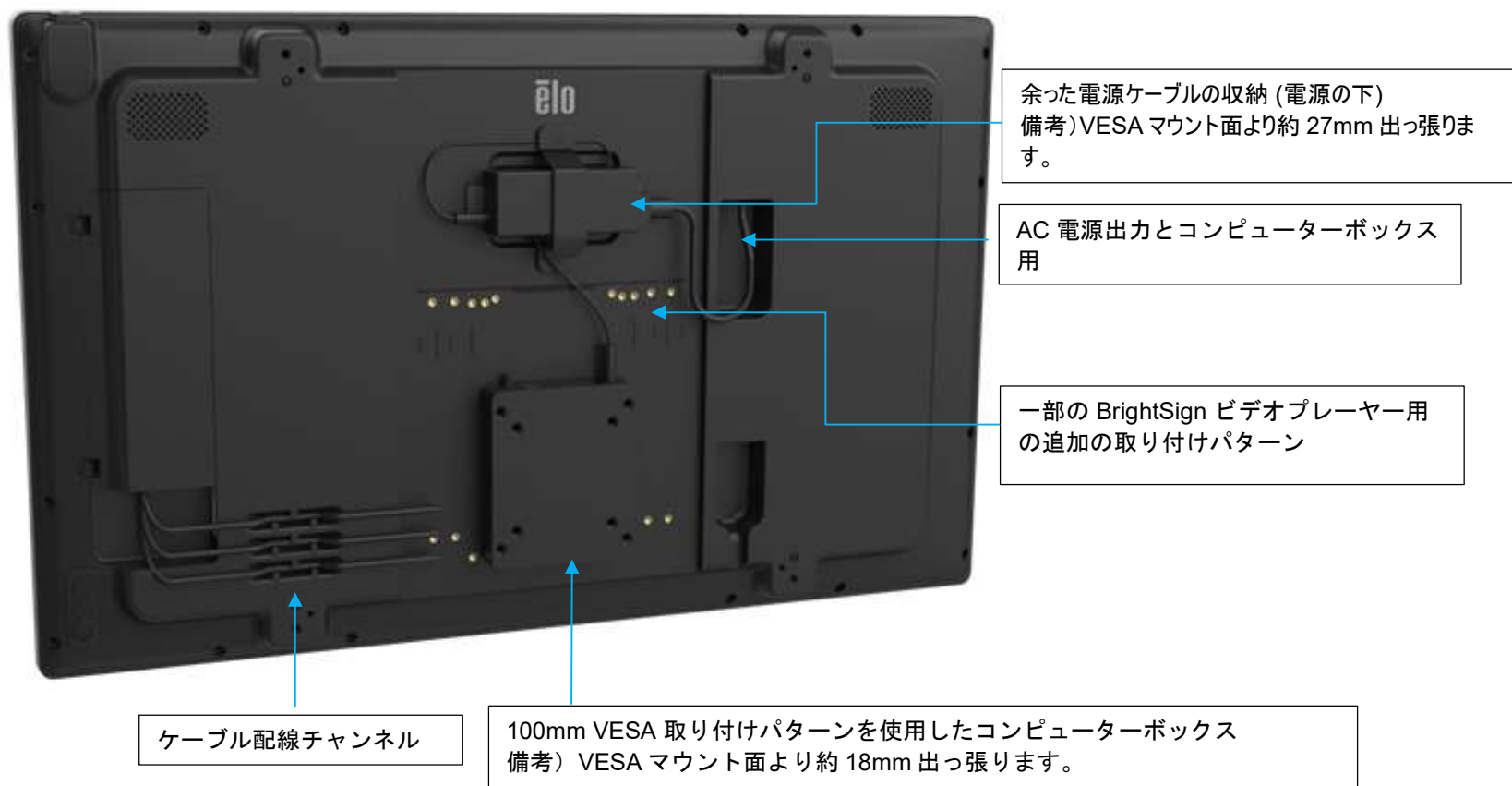
オプションケーブルなど

- 1) DP ケーブル PN:E582895(ELO-KIT-CABLE-1.8M-DP-to-DP)
備考)長さ 1.8m

弊社コンピューターボックスの取り付けと電源接続

オプション品のコンピューターボックス PN: E393359 (ESY00I1-0UWD-0-4G-6E-AQ-GMS-BK) 等を使用する場合、以下のように取り付けてください。

1. コンピューターボックスを IDSX4 ディスプレイ (100mm VESA パターン) の裏側に取り付け、M4 皿ネジ(コンピューターボックス同梱)で固定します。
2. 電源をストラップで固定します。(余った電源ケーブルは電源の下に収納できます。) 備考)必要に応じてテープ等を併用してください。
3. IDSX4 ディスプレイの C14 ソケットに、短い同梱 AC ケーブル (C14 ~ C5) を使用して、コンピューターボックスの電源に接続します。



タッチ技術ソフトウェアドライバのインストール

Windows 10 および Mac OS X、Android、または Linux のほとんどのバージョンでは、オペレーティングシステムに組み込まれている HID ドライバを使用するため、追加のドライバは必要ありません。

マウスエミュレーションに対応するためなどに、弊社タッチドライバのインストールが必要な場合は、ver9.2.0 以上のマルチタッチドライバを使用してください。

最新の Windows 用タッチドライバをダウンロードするには

1. Elo タッチドライバはタッチパネル・システムズのウェブサイト <https://www.tps.co.jp/> にアクセスしてください。
2. 画面左上のメニューから「ドライバダウンロード」⇒「タッチパネル・ドライバー一覧」と進み「Windows Touch 用(デジタイザー)ドライバ」をご利用ください。

備考) Elo Touch Solutions のウェブサイト www.elotouch.com からでも入手は可能です。

注意) 弊社タッチドライバをご使用の場合は、Windows のコントロールパネル内で「タブレットの設定」は行わないでください。

実施した場合は、弊社タッチドライバを一回アンインストールした後、再度インストールする必要があります。

MacOS システムへの接続

以下については、Elo Touch Solutions の Web サイト (www.elotouch.com) にアクセスしてください:

- Mac OS ドライバ (UPDD) は、Mac OS デバイスが接続されている場合、ウェイクオンタッチ機能をサポートしません。
- [MacOS システム](#) と接続する場合は、macOS 用の [マルチタッチドライバ](#) をインストールしてください。

Drivers, Files & SDK Downloads

Welcome to our download tool. By downloading a driver, you agree to the terms and conditions of the applicable End User License Agreement (EULA) on behalf of yourself and the company you represent. View the applicable EULA by clicking on the EULA link in the Notes. Choose a category to begin:

Touch Drivers

macOS

Current

Single & Multi Touch

Driver Download	Version	Supported Technologies	Notes
MultiTouch Driver for macOS	6.0	TouchPro® (PCAP), IntelliTouch® (SAW), IntelliTouch® Plus (eSAW), AccuTouch® (Resistive), CarrollTouch® (IR), iTouch/iTouch Plus, Surface Capacitive, Optical	Version 6.0.x is for Mac OS 10.8 and above. Mac OS driver only supports single touch when used on iTouch Plus and IntelliTouch® Plus products. - Download macOS touch drivers Installation Guide EULA

デバイスの制御と監視のための IDSx4 IoT 接続

IDS04 および 54 シリーズサイネージは、インターネット接続時に EloViewでサポートされます。

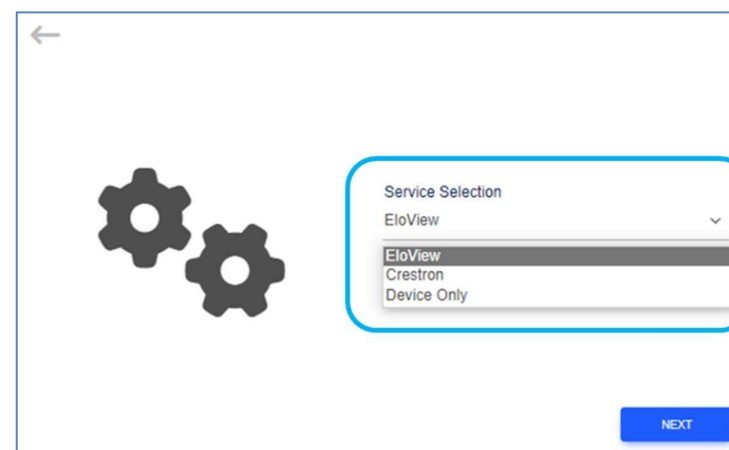
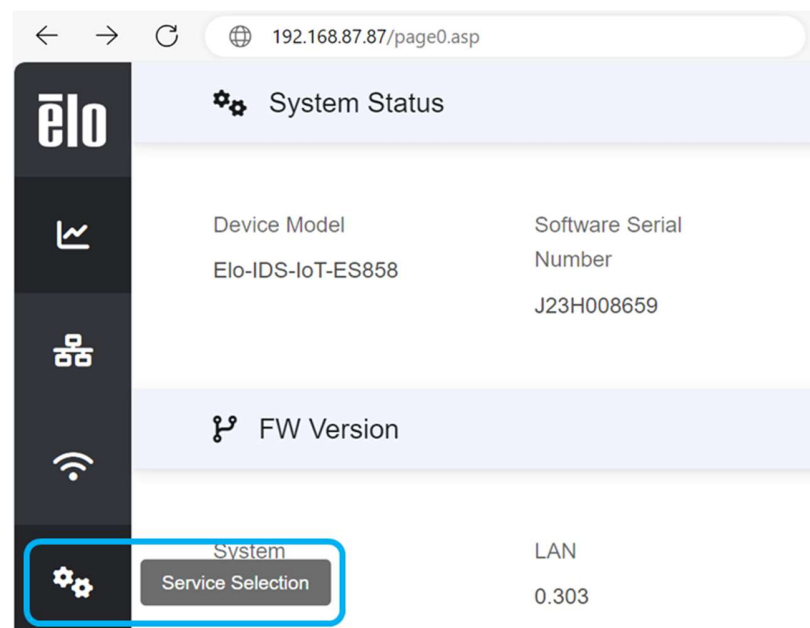
クラウドサービスの切り替えとオプションの Wi-Fi アダプタキットの設定については、IDS ローカル Web ページにアクセスしてください。

- EloView: Elo Cloud コントロールがサポートされています。
- Crestron: 日本国内では動作確認していません。
また、Crestronのクラウドサービスに関する費用はお客様の負担になります。



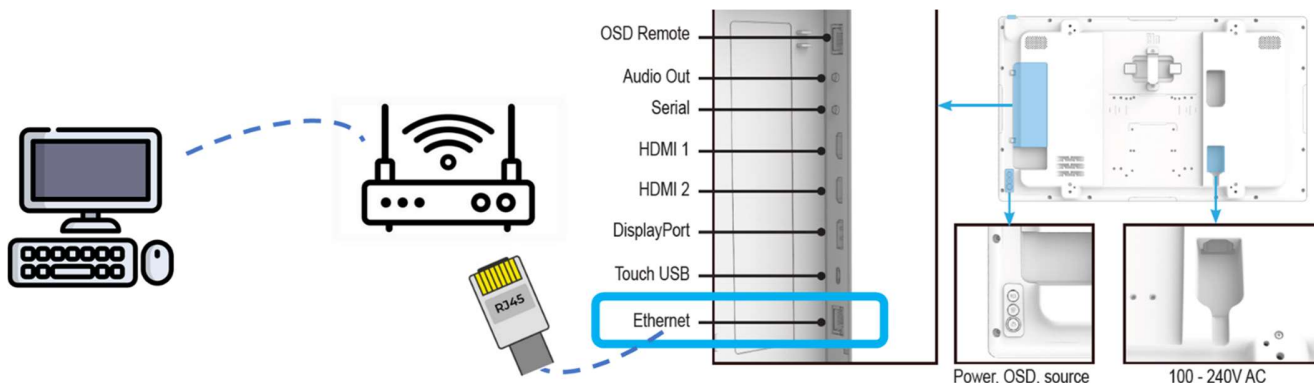
* システムがスリープモードおよびオフモードの場合、IoT は切断されます。

* OSD メニューまたは EloView 設定で「省エネモード」を無効にして、システムがスリープしているときに IoT をオンラインに保ちます。



IDSx4 ローカル Web ページにログインする

方法 1- DHCP によって割り当てられた IP、IDS LAN ポートを PC も接続しているルーターに接続します。



- ✓ OSD メニューの情報ページ 2 を確認します (情報ページの「→」をクリックします)
- ✓ PC の Web ブラウザを開き、割り当てられた IP を入力します (例: 192.168.001.166)

IP assigned by router in DHCP mode

Network Status:
Online [IP: 192.168.001.166]

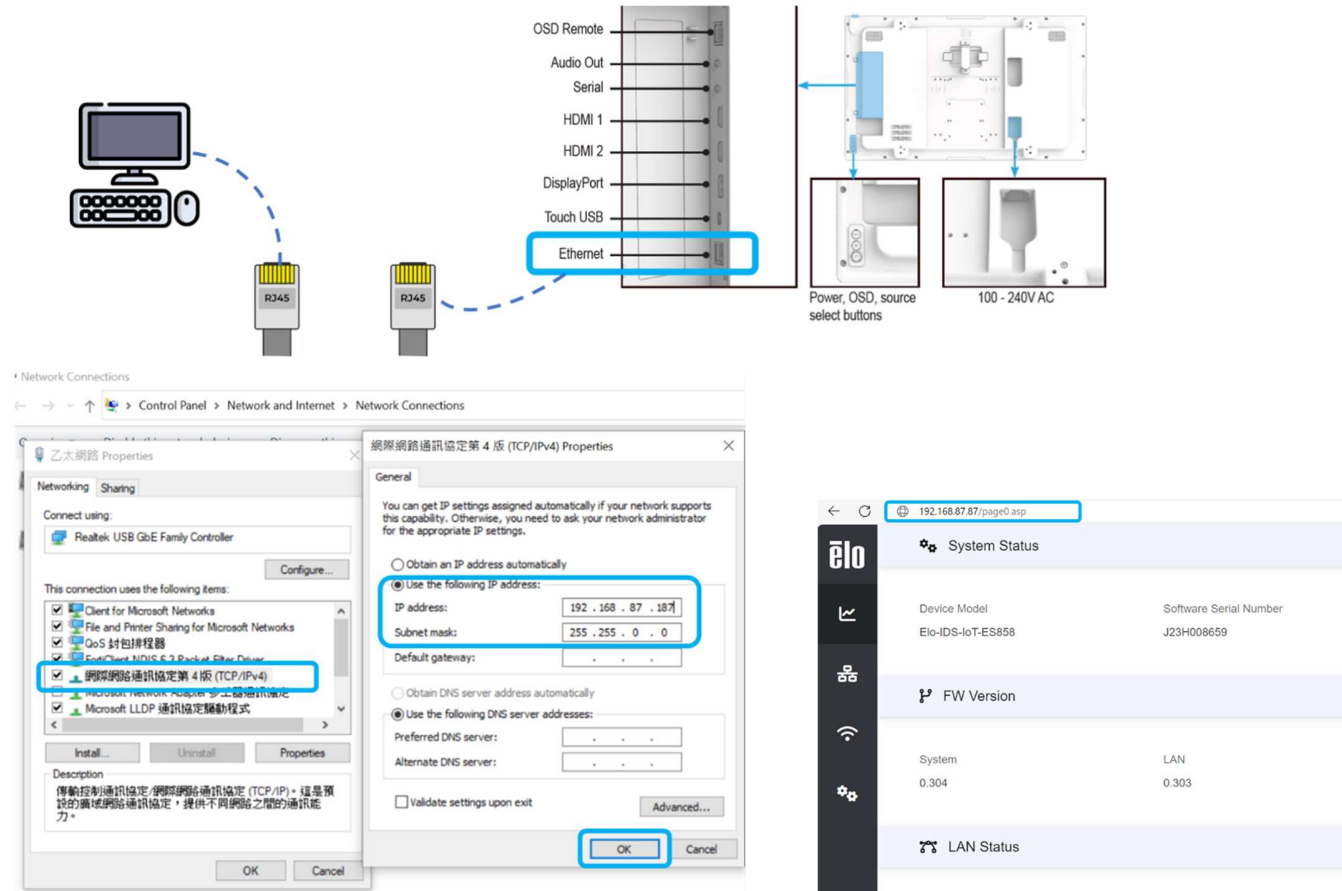
System Temperature:
38 °C / 100 °F

Error Message:
Check on EloView Website

Caution:
iOS Safari and Android browser may display IDSx4
Local Webpage with wrong resolution.

方法 2- 静的 IP、IDSx4 と PC (RJ45 LAN ポート) の間に LAN ケーブルを接続します。システムセットアップ:

- IDSx4 デバイス
- LAN ケーブル (RJ45)
- PC (Windows/Linux/macOS)、IDS 静的 IP (192.168.87.87) をリンクするにはイーサネット設定の確認が必要です
(イーサネットプロパティ → TCP/IPv4 → PC の静的 IP アドレスを設定する: 192.162.87.X (X = 1 ~ 255)、
サブネットマスク: 255.255.0.0)



IDS ディスプレイ: Wi-Fi アダプタの接続

オプションとして、WiFi アダプタ(ドングル)PN:E131942(WIFI Adapter IDS04/54 IOT)が準備されています。
使用時には WiFi で使用できますが、セットアップ時に有線 LAN でネットワークに接続する必要がありますので、注意してください。

- 右上端の USB A ポートは Elo Wi-Fi アダプタのみをサポートしています。
- Wi-Fi アダプタ IDS04/54 (E131942) は、WPA/WPA2 暗号化サポートと 2.4GHz/5GHz 周波数帯域をサポートします。
- LAN ケーブルが優先されるため、Wi-Fi SSID 設定後は LAN ケーブルを取り外してください。例: LAN ケーブルが抜かれている間、接続は数分で LAN から Wi-Fi に自動的に切り替わります。再接続にかかる時間は Wi-Fi ルーターの性能によって異なります。
- Wi-Fi SSID と IoT のセットアップについては、IoT 接続のセクションまたは QIG590425 を確認してください。

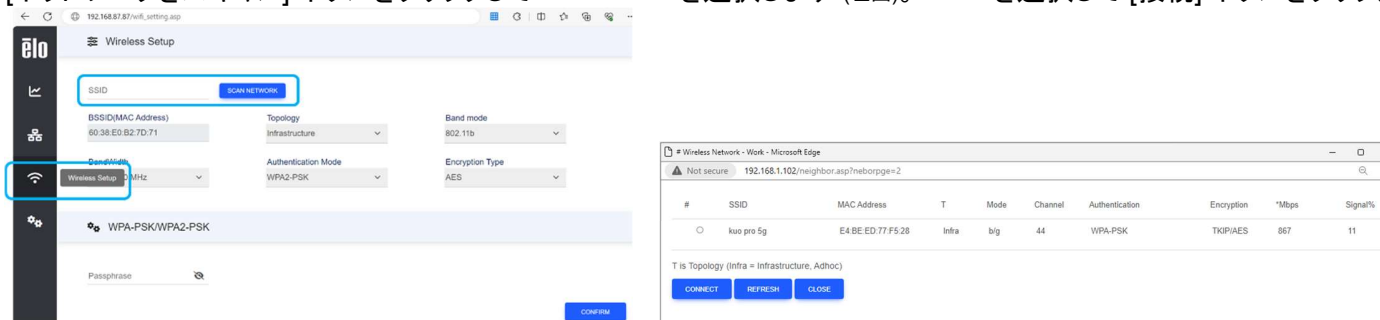
備考)WiFi アダプタは機器制御用で、映像やタッチ制御を WiFi 通信で行うことは出来ません。



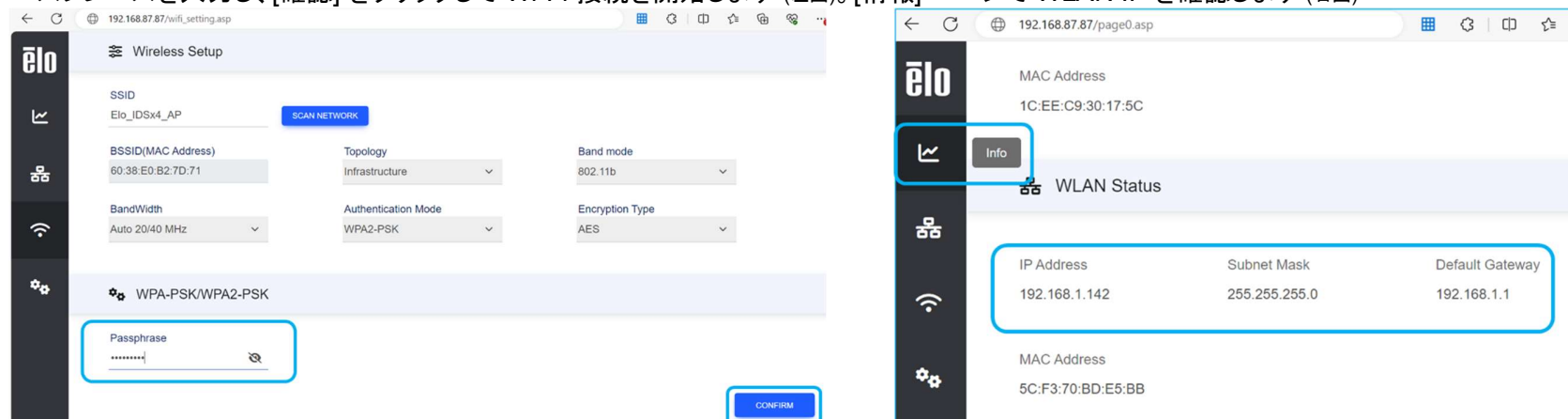
注意: LAN/Wi-Fi アダプタを取り付けたり、取り外したりする前に、IDSX4 ディスプレイの電源を切ってください。

Wi-Fi アダプタの設定/ローカル Web ページ

- IDSx4 ローカル Web ページのサイド バーにある [ワイヤレス セットアップ] アイコンをクリックします
- [ネットワークをスキャン] ボタンをクリックして Wi-Fi SSD を選択します (左図)。SSID を選択して [接続] ボタンをクリックします (右図)

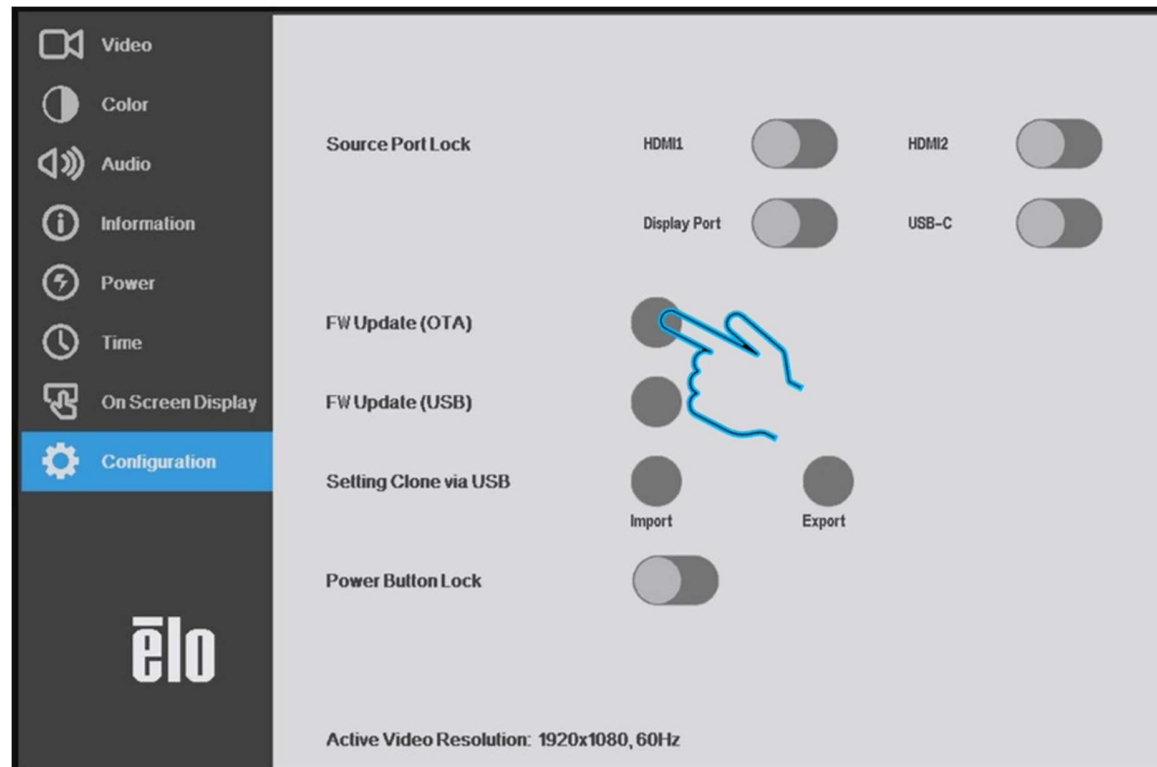
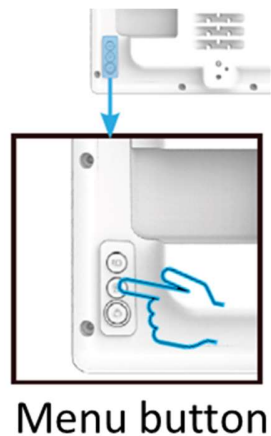


- パスフレーズを入力し、[確認] をクリックして Wi-Fi 接続を開始します (左図)。[情報] ページで WLAN IP を確認します (右図)

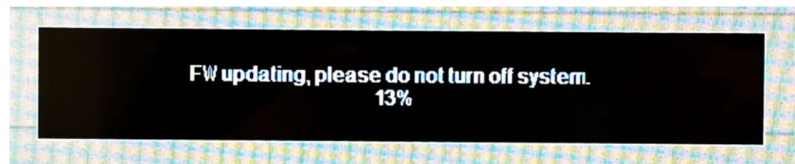


システム FW 更新 (OTA)

- IDS の電源を入れ、サイドボタンを押してオンスクリーンディスプレイメニューを開きます。
- [構成] ページの [FW 更新 (OTA)] ラジオボタンをクリックします。
- **FW 更新中は電源を切ったり、AC 電源コードを抜いたりしないでください。**

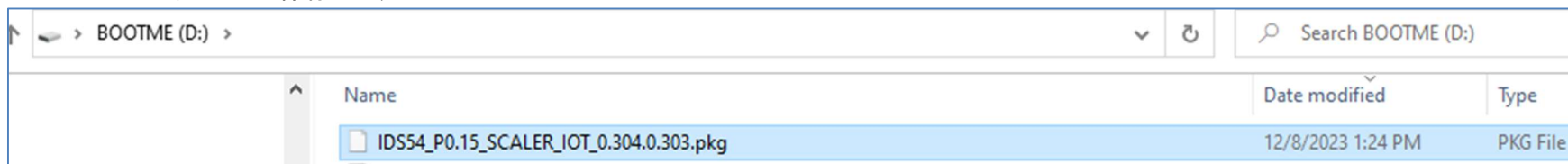


- FW 更新が完了するまで 8 分程度メッセージボックスが表示されます。FW 更新が完了すると、IDS が自動的に再起動します。

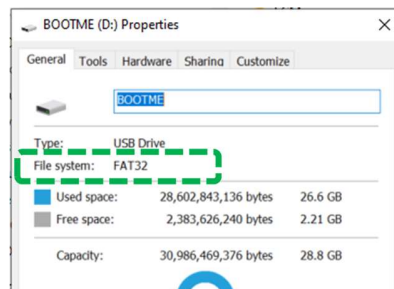


タッチモニター FW 更新 (USB 経由)

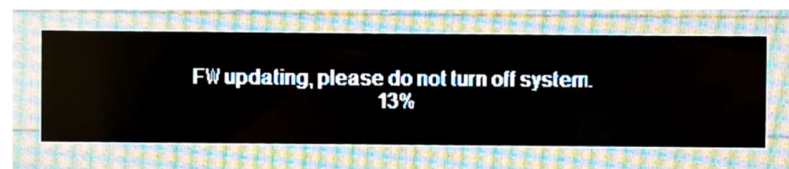
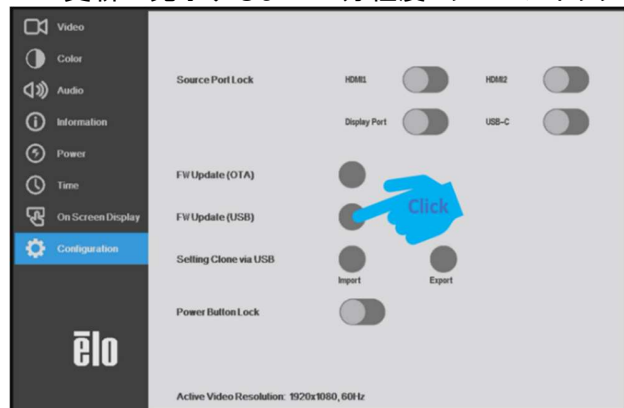
- ダウンロード | Elo® 公式 Web サイト (elotouch.com) から IDSx4 FW パッケージをダウンロードし、FW パッケージ (.pkg) を USB フラッシュに保存します



- .pkg ファイルを含む USB スティック/USB ドライブを接続します (FAT32 ファイル システムでのフォーマットが必要です)。



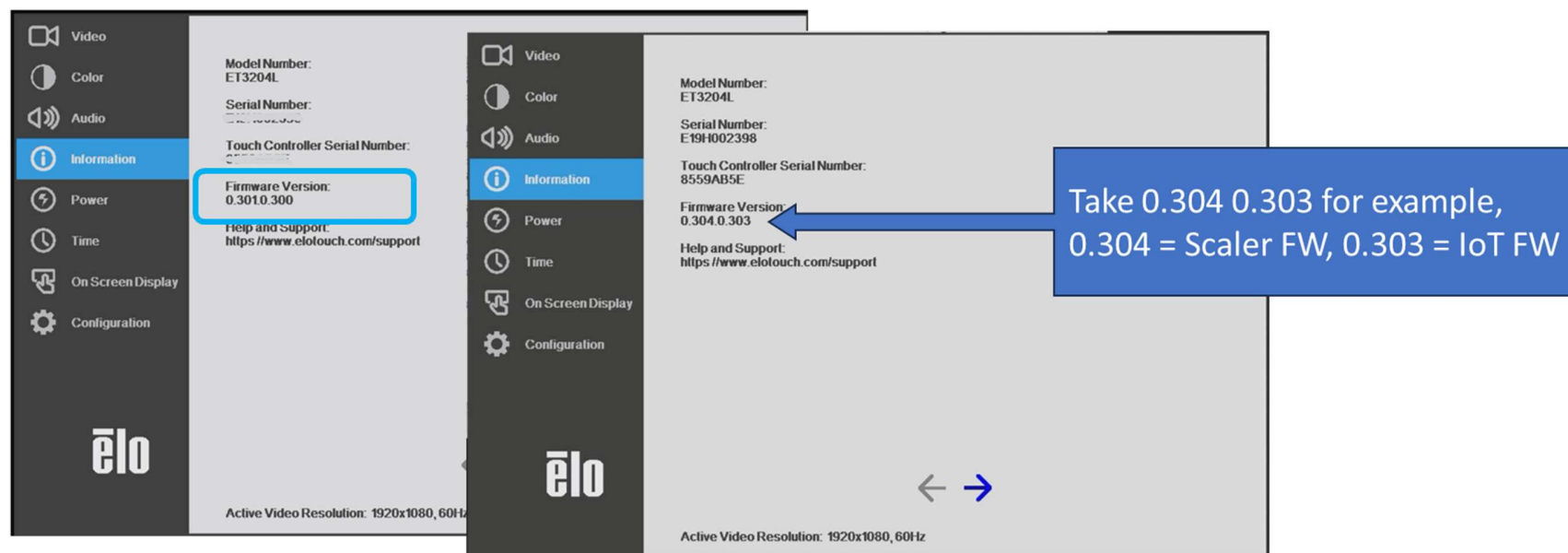
- [構成] ページに移動し、OSD メニューの [FW 更新 (USB)] ラジオボタンをクリックします
- FW 更新が完了するまで 5 分程度メッセージボックスが表示されます。FW 更新が完了すると、IDS が自動的に再起動します。



FW バージョンと更新結果の確認

- ✓ パッケージ FW 更新が完了すると、IDS が自動的に再起動します。
- ✓ OSD メニューの [情報] ページを確認すると、ファームウェアのバージョンがそれに応じて更新されます。

** IoT FW は表示されるまで 1 分遅れます。(初回電源投入時に X.XXX が表示されます)



4 章: 取り付け情報

注: IDSX4 は、少なくとも 2 人で取り扱い、持ち上げ、または、移動することを強く推奨します。LCD パネルの恒久的な損傷を引き起こす可能性がありますので、LCD ディスプレイを長時間下向きのままにしないでください。

取り付け方向

横方向、縦方向の取り付け方向、テーブルトップモード、傾斜モードがサポートされます。

横



縦

注: IDSX4 を縦方向に回転させる場合、Elo では、壁に取り付けるときにケーブル接続が容易になるように、IO ポートを下部に向けることをお勧めします。



テーブルトップ (画面上向き)

注: IDSX4 を卓上用途で使用する場合は、背面の VESA 取り付けパターンを使用して IDSX4 の重量を支えます。タッチスクリーンの平面度を維持するために、エッジの周りにサポートを追加することもできます。

モニターの下の空気温度が動作仕様を超えないことを確実にするため、冷却方法を適所に配置しなければなりません。テーブルトップモードの要件については、動作および保管条件のセクションを参照してください。



傾斜

注: IDSX4は、前方に最大 15 度傾けることができます。



注意: 安定性の危険

デバイスが落下して、重大な人身傷害や死亡事故を引き起こす可能性があります。怪我を防ぐため、このデバイスは設置手順に従って床/壁にしっかりと取り付ける必要があります。

VESA 背面取り付け

VESA の 4 穴取り付けパターンが IDSX4 の背面に提供されます。VESA FDMI 準拠の取り付けは、以下になります。

- 1) **ET3204L** : MIS-F、400、Y、ネジ M6
- 2) **ET4304L** : MIS-F、400、Y、ネジ M6
- 3) **ET5054L** : MIS-F、400、Y、ネジ M6
- 4) **ET5554L** : MIS-F、400、Y、ネジ M6、あるいは MIS-F、600、Y、ネジ M8
- 5) **ET6554L** : MIS-F、600、Y、ネジ M8 備考)24mm のスペーサを利用して取り付けることも可能です。

寸法図面については、www.elotouch.com あるいは 弊社ホームページを参照してください。

弊社タッチモニターには VESA 取り付け用のネジは同梱してありません。お客様のスタンドの構造も考慮したうえで適切な長さのネジを選定してください。

注意)弊社Androidボックスコンピューターなどを背面に取り付ける場合、VESAマウント面より出っ張っていますので、注意してください。

5 章: 操作

電源

IDS ディスプレイをオン/オフにするには、電源ボタンを一度押してください。

システムが SLEEP(スリープ) および OFF(オフ) モードの時はシステムの電力消費量が低くなります。電力消費の仕様詳細については、タッチパネル・システムズ株式会社のホームページあるいは仕様書を参照してください。

スクリーンにタッチするとシステムは、SLEEP(スリープ) モードから復帰します。

動作電圧範囲	動作周波数範囲
AC 100 ~ 240 V	50/60 Hz

使用率

エネルギーを節約し、ディスプレイの寿命を延ばすために、Elo は、ディスプレイを使用しないときは、スイッチを切ることを推奨します。

この作業のために、コンテンツ管理システム (CMS) プレーヤーアプリケーション、オペレーティングシステムの設定、IDSX4 ディスプレイ内のオンスクリーンディスプレイ (OSD) のリアルタイムクロック機能などいくつかのツールを使用することができます。

タッチ技術

Windows 10 コンピュータに接続すると、IDSX4 ディスプレイはマルチタッチに対応しています。

投影型静電容量方式は、最大 40 同時タッチを、赤外線走査方式は、最大 20 同時タッチをサポートします。

IDS ディスプレイの製品仕様は、弊社ホームページで確認するか、弊社までお問い合わせください。

ビデオ情報

液晶パネルのネイティブ解像度はその幅と高さがピクセル数で測定されます。

ほとんどすべての場合、液晶パネルに表示される画像は、コンピュータの出力解像度が液晶パネルのネイティブ解像度に一致するとき、最も見やすくなります。ご利用の IDSX4 ディスプレイのネイティブ解像度を確認するには、弊社製品仕様書を確認してください。他の解像度の動作は、ビデオ性能を劣化させますので、推奨されません。

ネイティブ解像度とコンピュータ出力解像度が一致しない場合、IDSX4ディスプレイはパネルのネイティブ解像度に合わせてビデオの画像サイズを調整します。入力ビデオの解像度が小さい場合、これには、パネルに合うように入力画像を X および Y 寸法を「伸長すること」が含まれます。入力ビデオの解像度が大きい場合、これには、パネルに合うように入力画像を X および Y 寸法を「縮小すること」が含まれます。コンピュータの出力ビデオ画像をIDSX4ディスプレイの表示に合うように拡大する場合、拡大アルゴリズムによる副産物は必至であり、画像忠実度が失われます。

近距離で機能豊富な画像を見ると、画像忠実度の損失が最も顕著に現われます（例えば、フォントが小さな文字を含む画像など）。

お求めの IDSX4 ディスプレイは、ビデオ調整を必要とする可能性はありません。

1) ET3204L/ET4304L

解像度	リフレッシュレート Hz
640 × 480	60
800 × 600	56,60
1024 × 768	60
1280 × 720	60
1280 × 960	60
1280 × 1024	60
1366 × 768	60
1440 × 900	60
1680 × 1050	60
1920 × 1080	60

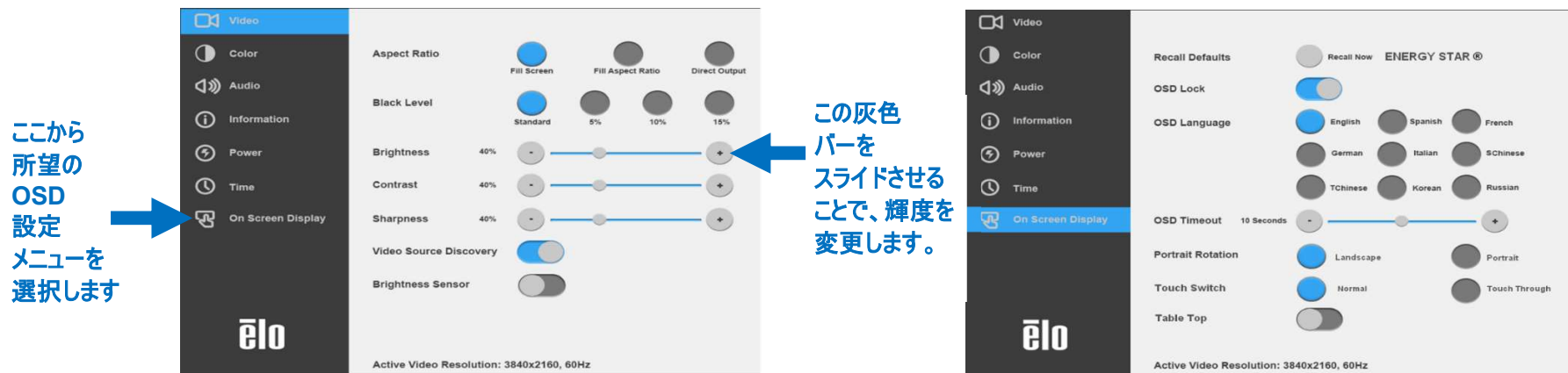
2) ET5054L/ET5554L/ET6554L

解像度	リフレッシュレート Hz
640 × 480	60
800 × 600	56,60
1024 × 768	60
1280 × 720	60
1280 × 960	60
1280 × 1024	60
1920 × 1080	60
2560x1440	60
2560x1600	60
3840 × 2160	30,60

タッチオンスクリーンディスプレイ (OSD)

このIDSX4ディスプレイは、操作しやすいタッチ OSD インターフェイスに対応しています。
IDSX4 ディスプレイの設定を調整するには、サイドバーの設定メニューを使用します

ポップアップ OSD メニューの例:



OSD を介して行われるすべての IDSX4 ディスプレイの調整は、入力されると直ちに自動的に保存されるため、IDSX4 ディスプレイのプラグを外したり、電源をオフ/オンするたび、または、電源障害の場合に選択を再設定する必要がありません。

注意) OSDメニュー表示の言語は 英語がデフォルトです。

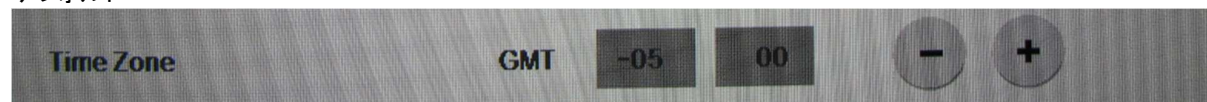
以下のメニューは、日本語と括弧内に英語を表記してありますが、実際の表示はOSDの言語設定された言語のみにになります。

初回起動時には **Let's Get Started(始めましょう)**のメニューが表示されます。

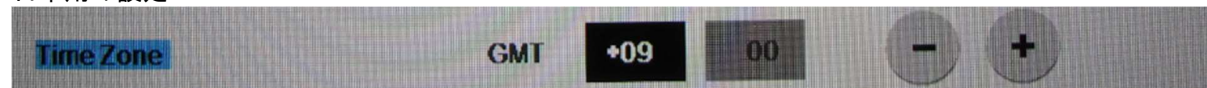
言語(Language)、時刻(Set the Time)、タイムゾーン(Time Zone)を選択(Finish)してください。

タイムゾーンはGMT(グリニッジ標準時)での設定ですので、日本の場合は+09で設定下さい。

デフォルト



日本用の設定



	パラメータ	利用可能な調整
ビデオ (Video)	アスペクト比 (Aspect Ratio)	ディスプレイのアスペクト比を調整します。 初期設定: 画面に合わせる 画面に合わせる(Fill Screen): 入力映像の X 寸法と Y 寸法を (必要に応じて上下して) 表示のネイティブ解像度に縮小拡大する。 アスペクト比に合わせる(Fill Aspect Ratio): 横方向と入力ビデオのアスペクト比が 16:9 より小さいものと仮定し、入力ビデオの Y 寸法を (必要に応じて上下して) 表示の Y 解像度にスケールし、X 寸法を拡大縮小して、入力ビデオのアスペクト比を維持します (左右のブラックバーで残りの表示部を均等に埋める)。 ダイレクト出力(Direct Output): 1:1、スカラーがそれをサポートできるかどうか依存します
	黒レベル (Black level)	ユーザーは、標準、5%、10% または 15% の黒レベルオフセットを選択することができます。 選択される黒レベルオフセットに応じて、色の彩度レベルが変化します。
	輝度 (Brightness)	ディスプレイの輝度を調整します。 備考) 輝度センサー有効時には無効になります。
	コントラスト (Contrast)	ディスプレイのコントラストを調整します。 初期設定: 50
	シャープネス (Sharpness)	表示される画像のシャープネスを調整する。 初期設定 : シャープネスの調整なし シャープネス機能は、入力ソース比がパネルのネイティブ比に等しいときは無効になります
	ビデオポート検出 (Video Port Discovery)	有効になっているとき、新しいビデオポートが接続されると、モニターは自動的に切り替えます。 初期設定: 有効
	輝度センサー (Brightness Sensor)	光センサーのオンまたはオフを切り替えることができます。光センサーが有効であるとき、輝度を手動で変更することはできません。 初期設定: 有効 光センサーの表は、10 章: 付録 A に記載されています

	パラメータ	利用可能な調整
色 (Color)	色温度 (Color Temperature)	色温度を調整します。色温度のオプションは、9300K、7500K、6500K、5500K、3200K、ユーザー定義(User)です。 初期設定: ユーザー定義(User)
	ユーザープリセット (User Preset)	ユーザープリセットオプションを選択した場合、ユーザーは、0 ~ 100 のスケールで個々の R(Red)、G(Green)、B(Blue) のゲインを変更することにより、色温度を変更することができます。 初期設定: RGB全て100
	画像モード (Picture Mode)	色定義を強化するために色パラメータを変更するカラーモードをプリセットします。 利用可能なモードは、標準(Standard)、映画(Movie)、ゲーム(Gaming)、写真(Photo)、ラインモード(Line mode)、カラーエンハンス(Color Enhance)です 初期設定: 標準(Standard)
	カラーセンサー (Color Sensor)	周囲の色温度の読み取りに基づいてディスプレイの色を調整します。 初期設定: 無効
	HDMI フルカラーレンジ (HDMI Full Color)	有効にすると、HDMI の全色範囲 (0 ~ 255) が表示されます 無効にすると、従来の色範囲 (16 ~ 255) が表示されます
	パラメータ	利用可能な調整
オーディオ (Audio)	ミュート (Mute)	オーディオを有効または無効にします。 初期設定: 無効
	音量 (Volume)	音量を 0 ~ 100 に調整します 初期設定: 50
	オーディオ出力 (Audio Output)	オーディオ出力の送信先を設定します。スピーカー(Speaker) あるいはライン出力(Line Out) スピーカーに設定すると、音声は IDSX4 ディスプレイのスピーカーに送信されます。 ライン出力に設定すると、オーディオは IDSX4 ディスプレイのオーディオ出力ポートに送信されます
	パラメータ	利用可能な調整
情報 (Information)	モニター情報	[モデル NO(Model number): 「モデル番号: XYZ」] [モニター SN(Serial number): 「シリアル番号: XYZ」] [タッチコントローラ SN(Touch Controller Serial Number): 「タッチコントローラシリアル番号: XYZ」] [ファームウェアバージョン(Firmware version): スケーラーバージョン: W.XYZ、IoT バージョン: A.BCD Help and Support:備考 日本国内のお客様には対応していません。
	IoT 機能	インターネット接続: 「ネットワークステータス(Network Status): オフライン/オンライン」 [IP: xxx.xxx.xxx.xxx] IP アドレスが黒色の場合は LAN ケーブル接続を意味します。 IP アドレスが青色の場合は Wi-Fi 接続を意味します。
	温度	[システム温度(System Temperture): 華氏: /摂氏]
	エラー	[エラーログ通知: エラーメッセージ(Error Message): ヌル/EloView Web サイトで確認する]

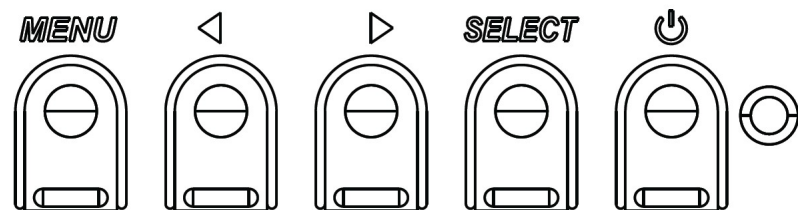
	パラメータ	利用可能な調整
電源 (Power)	ウェイクオンタッチ (Wake on Touch)	タッチ USB ポートのウェイク機能を有効または無効にします。 初期設定: 有効
	省エネモード (Energy Saving Mode)	有効にすると、モニターは、Energy Star 規制に準拠します 初期設定: 有効
	電源ステータスライト (Power Status Light)	電源ステータスライトを有効または無効にします 初期設定: 有効
	停電時の動作 (Power Loss Behavior)	AC 電源喪失後のデバイスの動作を選択します [最後の状態(Last State)/常時オン(Always ON)/常時オフ(Always Off)] 初期設定: 最後の状態(Last State)
	自動DP復帰 (Auto Display Wake Up)	有効にすると、光センサーを使って、モニターをスリープモードから復帰させることができます 初期設定: 無効
	HDMI CEC	HDMI CEC 制御を有効/無効にする 初期設定: 有効
	ウェイクオン IoT (Wake on IoT)	タッチ USB 経由でウェイクオン IoT (EloView コマンド) を有効/無効にする (PCAP のみ) 初期設定: 有効
	パラメータ	利用可能な調整
時間 (Time)	時刻設定 (Time/Date)	現在時刻を設定するオプション
	オン/オフスケジュール (On/Off Schedule)	指定時刻にモニターをオンまたはオンにするように設定します オン(On): 07:00:00 オフ(Off): 01:00:00 初期設定: 毎日
	パラメータ	利用可能な調整
オンスクリーン ディスプレイ (On Screen Display)	デフォルトの再呼び出し (Recall Defaults)	「デフォルトの再呼び出し(Recall Defaults)」を選択すると、OSD 調整可能パラメータ (OSD 言語と OSD 時刻設定を除く) およびプリセットビデオモードのタイミングがすべて工場出荷時の初期設定に復元されます。
	OSD ロック (OSD lock)	選択すると、メニューボタンとソース切り替えボタンの両方が無反応になります。 メニュー ボタンを 5 秒間長押しして、ボタンをロック/ロック解除します。
	OSD 言語 (OSD Language)	OSD 情報を表示する言語を選択します。使用可能な言語は、英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語です。 初期設定: 英語。
	OSD タイムアウト (OSD Timeout)	OSD ボタンが一定の時間を経過しても使用されないとき、IDSX4 ディスプレイが OSD を閉じるまで待機する期間を設定します。調整可能範囲は 5 ~ 60 秒です。 初期設定: 15 秒
	縦表示回転 (Portrait Rotation)	OSD の向きを横モード(Landscape)と縦モード(Portrait)から選択できます。 初期設定: 横モード(Landscape)
	タッチスイッチ (Touch Switch)	タッチ感度をノーマルタッチモード(Normal)またはタッチスルーモード(Touch Through)から選択できます。 初期設定: ノーマルモード (Normal)

	パラメータ	利用可能な調整
構成 (Configuration)	ソースポートロック (Source Port Lock)	選択したポートを非アクティブ化し、選択した入力ソースからのビデオ入力を放棄します。 ソース切り替え OSD も、ロックされたビデオポートをグレー表示します。 初期設定: 未選択
	FW 更新 (OTA) (FW Update(OTA))	FW アップデート。Elo クラウドサーバーを確認し、新しい FW が利用可能になったら FW 更新を行います。 IDSX4 にイーサネットが接続されていることを確認してください。(OSD メニュー > 情報 > ページ 2、ネットワークステータス:「オンライン」)
	FW 更新 (USB) (FW Update(USB))	FW アップデート。USB タイプ A ポートを使用して FW パッケージを挿入します。FW 更新を開始する前に、ダウンロードされた FW パッケージを含む USB サムドライブに接続する必要があります。 (FAT32 ファイル形式でフォーマットされた USB ドライブを使用することをお勧めします。)
	USB 経由での クローンの設定 (Setting Clone via USB)	デバイス設定をインポートおよびエクスポートして、大規模なデバイス設定を転送します。
	電源ボタンのロック (Power Button Lock)	有効になっているとき、電源ボタンが押された場合でも、モニターはオンのままになります。 この機能が有効となっており、モニターに対する電源が失われた場合、電源が復活したとき、電源ボタンを押すことで、モニターはオンに切り替わります。 初期設定: 無効

オンスクリーンディスプレイ (OSD) (オプションの Elo 部品番号 – E483757)

OSD リモコンを IDSX4 ディスプレイの背面にある *OSD リモコン接続* に接続します。
OSD リモコンには、5 つの OSD ボタンがあります。
また、モニターの状態を表示する LED ライトがあります。
以下は、指定されたボタンに関連するボタンです。

注: リモコンから OSD メニューを開くことで、OSD メニューのタッチ機能は無効になります。

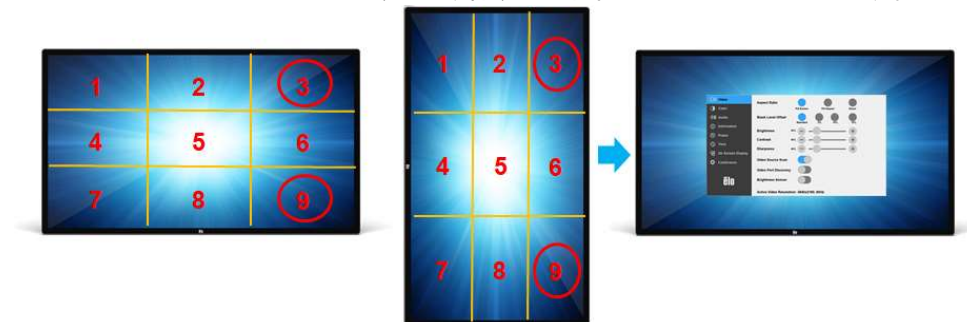


ボタンとその機能は次のとおりです。

ボタン	OSD が表示されていない時の機能:	OSD が表示されている時の機能:
メニュー	OSD メインメニューを表示	前の OSD メニューに戻る
▶	該当なし	選択したパラメータの値を増やします/ 次のメニュー項目を選択します
⏻	モニターの電源	モニターの電源ステータスを切り替えます
◀	該当なし	選択したパラメータの値を減らします/ 前のメニュー項目を選択します

タッチアクティブ化 OSD (ET3204L および ET5054L/ET5554L の場合)

ET3204L/ET5054L/ET5554L は、コード化されたパターンで画面にタッチすることで OSD メニューを開くことができます。パターン オプションは 1 ～ 9 の一連の数字で、各数字の位置は以下に示されています。メニューを開くコードは (3 -> 9 -> 3 -> 9) です。



* タッチ OSD メニューはシングルタッチのみをサポートしており、3 秒を超える選択はできないことに注意してください。

オーディオ

オーディオを以下の場所から出力できます:

- 1) ビデオチャンネルを経由して、IDSX4 ディスプレイのスピーカーから
- 2) IDSX4 ディスプレイ IO のオーディオ出力を経由して、外部スピーカーから

注: ヘッドフォンがオーディオ出力ジャックに接続されているとき、内部スピーカーはオフに切り替わり、オーディオはヘッドフォンで再生されます。スピーカーおよびヘッドフォン出力の音量およびミュートは、OSD により制御されます。

IDSX4 ディスプレイのリモート制御

IDSX4 ディスプレイには、ホストアプリケーションからリモートアクセスできます。これは、VESA ディスプレイデータチャンネルコマンドインターフェイス (DDC/CI) またはマルチディスプレイ制御コマンドセットのいずれかを使用して行われます。ユーザーは、これらのプロトコルのいずれかを介してモニターと通信することができます。

ホストアプリケーションは、IDSX4 ディスプレイ上で実行される様々な異なるコマンドを送信することができます。

コマンドセットに関する詳細については、弊社までお問い合わせください。

CEC (家電制御) 機能

IDSX4 ディスプレイは、CEC 機能を装備しています。ホスト装置 (CEC 内蔵) が、HDMI を介してモニターに接続されている場合、モニターは、ホスト装置をオンに切り替えることによってのみ、オンに切り替えることができます。

但し、弊社オプション品のコンピューターボックス PN: E393359 (ESY00I1-0UWD-0-4G-6E-AQ-GMS-BK)は CEC 機能をサポートしていません。

リアルタイムクロック (RTC) 機能

IDSX4 ディスプレイには、リアルタイム クロック機能が備わっています。OSD メニューには、RTC 設定と呼ばれるサブメニューがあります。

RTC 機能を利用するには:

特定のタイムゾーンに対する時刻を設定してください。オン/オフスケジュールが有効であるとき、ユーザーは、いつモニターをオフにし、いつオンにするかを選択することができます。個別の日または複数の日を選択することができます。

例: 月曜日、水曜日、金曜日の午前 9 時から午後 5 時の間にモニターをオンにします。それ以外の曜日と時間は、モニターをオフにします。

- オン/オフスケジュールを有効にします
- M、W、F を選択します
- オン時刻として 09:00:00 をオフ時刻として 17:00:00 を設定します

* すべての時間設定は、24 時間制で動作することに注意してください。

ウェイクオンタッチ

タッチディスプレイは、PC がスリープモードであるとき、ウェイクオンタッチ機能をサポートします。これを有効にするために、BIOS 設定が、S4 スリープサイクル中に USB サポートを有効にしていることを確認してください。

インテリジェント輝度制御およびカラーセンサー機能

この IDSX4 ディスプレイには、周囲光と色レベルを一致させるため、画面の輝度および表示色を調整することができる光センサーとカラーセンサーが含まれます。機能の詳細については、10 章: 付録 A に記載されています。

光センサーを使って、モニターをスリープモードから復帰させることができます。これは、光の量が非常に暗い (50 ルクス以下) から明るい (200 ルクス以上) に変化するときが発生します。この機能を有効にするために、必ずモニターの省エネモードを無効にしてください。

省エネモード

ET3204L/ET4304L/ET5054L/ET5554L/ET6554L は、省エネモードを有効にすると、Energy Star 8.0 の要件を満たします。

省エネモードを有効にすると、4 面の周辺機器用ポート、MDC コマンド、自動ディスプレイウェイクアップ機能が制限されます。IDSX4 ディスプレイの全機能を復元するには、省エネモードを無効にしてください。



ENERGY STAR は、エネルギー効率を改善するために U.S. Environmental Protection Agency (EPA) と U.S. Department of Energy (DOE) が推進するプログラムです。本製品は、「工場出荷時初期」設定で ENERGY STAR により認定されており、これは省エネで達成される設定です。

工場出荷時初期映像設定を変更するか、他の機能を有効にすると、消費電力が増え、ENERGY STAR 定格に認定されるために必要な制限を超える可能性があります。ENERGY STAR プログラムに関する詳細については、energystar.gov を参照してください。

以下の周辺機器がエッジコネクタ用のオプションとして準備されています。

- 1) 2D スキャナー PN: E245047 (KIT, 2DBCR, USB, SE4107, EDGE CONNECT)
- 2) Webカメラ PN: E201494(KIT, 2D WEBCAM, EDGE CONNECT)
- 3) NFCリーダー PN:E673037(KIT-NFC-LF/HF-EDGE CONNECT)
- 4) ステータスライト PN: E644767 (KIT, STATUS LIGHT, USB,EDGE CONNECT)

エッジコネクタ(オプション) の取り付け方法

Web カメラ の例

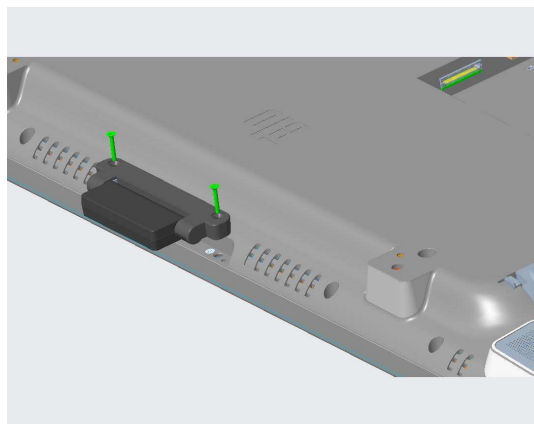
IDSX4 ディスプレイの各 4 辺に内蔵 Micro-USB ポートに接続し、ネジで固定できる周辺ポート(エッジコネクタ)があります。

Web カメラを取り付けるには、以下のように、周辺ポートカバーの 1 つを取り外し、Web カメラに付属のネジで取り付けます。セットアップの詳細については、Web カメラに同梱のクイックインストールガイド (QIG)などを参照してください。

固定時の注意)ネジを締める場合、トルクは、0.5Nm 以下としてください



1.まず、周辺ポートのカバーを外します。



2.次に Web カメラの USB コネクタを IDS 側の USB コネクタに差し込みます。



3.ネジを既定のトルクで締め、固定します。



4.必要に応じてネジを隠すカバーをネジの上に貼って下さい。

6 章: メンテナンスに関する情報

安全上のご注意

感電の危険を回避するため、安全性に関するすべての注意事項に従ってください。また、IDSX4 ディスプレイはユーザーが修理できるものではありませんので分解しないでください。

これらの通気口をふさいだり、通気口に物を入れないでください。

IDSX4 ディスプレイには、3 線式接地タイプの電源コードが付属しています。電源コードのプラグは、接地極付のコンセントのみにぴったりと収まります。この目的のための形状になっていないコンセントにプラグを合わせたり、変更したりしないでください。損傷のある電源コードは使用しないでください。お買い上げの IDSX4 ディスプレイに同梱されている電源コードのみを使用してください。認められていない電源コードを使用した場合、保証が無効になる可能性があります。

システムが、弊社ホームページ等の製品仕様に記載されている指定された環境条件内で維持・実行されていることを確認します。

日常のメンテナンスについてのご注意

IDSX4 ディスプレイが最適なレベルで機能するよう以下の点に従ってください。

- ・ **クリーニングを行う際は、電源オフの状態で行ってください。**
- ・ 装置内に液体が入らないよう、洗剤等を直接タッチスクリーンや機器に直接噴霧したり、かけたりしないでください。
- ・ 装置内に液体が入ってしまった場合は、資格があるサービス技術者による点検を受けるまで電源を入れないでください。
- ・ 表示ユニットのキャビネットをクリーニングする場合は、薄めた中性洗剤で軽く湿らせた清潔な布を使用してください。
- ・ タッチスクリーンのタッチ面は、ガラスでできております。クリーニングは、窓ガラス用洗剤かガラス磨きスプレーなどを清潔な布またはスポンジにつけて行って下さい。
- ・ タッチ面に液体などが付着した状態で通電した場合、タッチ動作が不安定になる場合がありますので、注意して下さい。
- ・ プラスチック外装部の清掃にエタノール/メタノールを使用しないで下さい。劣化する場合があります。
- ・ 金属部のクリーニングに次亜塩素酸ナトリウム等を使用すると金属が腐食する可能性がありますので注意してください。
- ・ 環境温度および湿度が仕様範囲内に維持され、通気口がふさがれていないことを確認してください。

7 章: 技術サポート

技術的なサポート

技術的なサポート

技術サポートを得るには、以下の方法で情報を得ることができます。

- ウェブサイト
- サポートセンター

ウェブサイトを利用して

ワールドワイド : <https://support.elotouch.com/>

日本 : <https://www.tps.co.jp/support>

をご覧ください。

サポートセンターの利用

日本では、タッチコンピューターの操作方法や技術的なお問合せ先としてサポート窓口を用意しております。連絡先や受付時間は以下を参照下さい。

タッチパネル・システムズ サポートセンター

電話番号: 03-5464-5835、FAX 番号: 03-5464-5478

e-mail: tpstech@tps-support.com

受付時間: 月曜日～金曜日 (但し、弊社指定休日は除く)

9:00～12:00、13:00～17:00。

8 章: 規制情報

廃電気電子機器指令 (WEEE)



本製品を一般家庭廃棄物として廃棄しないでください。本製品は、回収・再利用の可能な施設で廃棄されなければなりません。

Elo では、世界の特定の地域においてリサイクルについての取り決めに整っています。これらの取り決めについては、
www.elotouch.com/e-waste-recycling-program/ をご覧ください。

電気保安に関する情報

メーカーのラベルに記載された電圧、周波数、および電流の要件を必ず順守してください。ここに指定されたものとは異なる電源に接続した場合、非正常動作、装置への損傷、火災の危険性などが生じる可能性があります。

この装置の内部には、お客様による保守が可能な部品はありません。この装置内部には、高圧になる危険な部分があります。この装置の保守を行うことができるのは、正規保守技術者のみです。

設置について疑問点がある場合は、装置を主電力につなぐ前に、地域の正規電気技術者またはメーカーにお問い合わせください。

電磁波放射および電磁波耐性に関する情報

米国の利用者に対する通知。本装置は、FCC 規則の Part 15 に記載されている Class A デジタル装置の制限に準拠していることをテストおよび確認済みです。これらの制限は、商業地域で装置を使用したときに干渉を防止するための適切な保護を規定しています。本装置は、高周波エネルギーを生成、使用、および放射します。したがって、取扱説明書に従って正しく設置・使用しないと、無線通信に有害な妨害を与える可能性があります。本装置の住宅地域における操作は、有害な干渉を引き起す可能性があります。ユーザーは、自分自身の費用でこの干渉を修正する必要があります。本装置は FCC 規則の Part 15C に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に従うものとします。

- 1) 本装置が干渉を発生することはありません、そして
- 2) 本装置は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、すべての干渉を受け入れる必要があります。

カナダの利用者に対する通知:

本装置は、カナダ通信省により定められたデジタル装置によるラジオ雑音放射に関する Class A の制限に準拠しています。

CAN ICES3(A)/NMB3(A)

本装置はカナダ産業省ライセンス免除 RSS 規格に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に従うものとします。

- (1) 本装置が干渉を発生することはありません、そして
- (2) 本装置は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、すべての干渉を受け入れる必要があります。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage; et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

欧州連合の利用者に対する通知: 本装置に付属の電源コードおよび相互接続ケーブルのみを使用してください。

付属のコード類およびケーブル類を使用せず別のもので代用した場合、以下の標準規格で要求される、電磁波放射/電磁波耐性に関する電気保安または CE マークへの適合が無効になる場合があります。

この情報処理装置 (ITE) はメーカーのラベルに CE マークを貼付するように義務付けられており、このマークは下記の指示および基準に従って検査されたことを意味します。本装置は、欧州規格 EN 55032 Class A の EMC 指令 2014/30/EU、および欧州規格 EN 62368-1 に定められた CE マークの認定要件を満たすことがテスト済みです。
すべての利用者に対する一般情報: 本装置は、高周波 (RF) エネルギーを生成、使用し、放射する可能性があります。本マニュアルに従って設置・使用しないと、ラジオやテレビへの干渉の原因となる場合があります。ただし、特定の設置条件において設置場所固有の要因による干渉が起きないことを保証するものではありません。

1. 電磁波放射および電磁波耐性に関する要件を満たすため、以下のことを順守してください。

- a. 付属の I/O ケーブルのみを使用して、本デジタル装置をコンピュータに接続する。
- b. 要件を順守するために、メーカー指定の電源コードのみを使用すること。
- c. 順守の責任を負う当事者により明示的に承認されていない変更または改造を装置に加えると、本装置を操作するユーザーの権利が無効になることがあり得ることに注意を払うこと。

2. ラジオやテレビまたはその他の装置の受信状態への干渉が本装置によるものと思われた場合は、以下のことを行ってください。

- a. 本装置の電源を切ってから、再度電源を入れて、干渉の原因であるかどうかを確認する。干渉がこの装置による影響と思われれば、次の対処方法を組み合わせて干渉を防止してください。
 - i. 本デジタル装置と、影響を受けている装置の距離を離してみる。
 - ii. 本デジタル装置と、影響を受けている装置の位置や向きを変えてみる。
 - iii. 影響を受けている装置の受信アンテナの向きを変えてみる。
- iv. 本デジタル装置の電源プラグを別の AC コンセントに差し、本デジタル装置と受信装置を別々の分岐回路に配置してみる。
- v. 本デジタル装置が使用していない入出力ケーブルがあればすべて取り外してみる。
(終端処理されていない入出力ケーブルは、高 RF 放射レベルの潜在的な発生源です。)
- vi. 本デジタル装置の電源プラグを、接地極付のコンセントのみに差し、AC アダプタプラグを使用しない。(コードの直列接地を取り除くかあるいは切断すると、RF 放射レベルが増加する場合があります、利用者にとって致命的感電の危険性を呈する場合があります。)

それでもまだ問題が解決しない場合は、取り扱い店、メーカーにお問い合わせください。

規格認定

以下の認定およびマークは、ET3204L/ET4304L/ET5054L/ET5554L/ET6554L モニターに対して発行または宣言されています。

- UL、FCC (米国) - クラス A
- cUL、IC (カナダ)
- CB (国際安全)
- CE (欧州) - クラス A
- UKCA(英国)
- RCM (オーストラリア)
- VCCI (日本)及び電安法
- CCC (中国)
- KC(韓国)

中国 RoHS

中国の法律 (電気・電子製品における有害物質使用制限の管理方法) に従い、本製品に含まれる可能性のある有毒物質または危険物質または有毒危険物質の名称と量を、以下のセクションに示します。



危険物質

部品名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr6+)	ポリ臭化 ビフェニル類 (PBB)	ポリ臭素化 ジフェニルエーテル (PBDE)
プラスチック部品	O	O	O	O	O	O
ワイヤー&ケーブル・アセンブリ	O	O	O	O	O	O
PCBA	X	O	O	O	O	O

この表は、SJ/T 11364 の規定に従って作成されています。

O: この部品のすべての均質材料に含まれている前記有害物質が、GB/ T 26572 の制限要件を下回っていることを示します。

X: この部品に使用されている均質材料の少なくとも 1 つに含まれている前記有害物質が、GB/T 26572 の制限要件を超えていることを示します。

X が付いている項目については、EU RoHS に 従って免除されました。

マークの説明

SJ/T11364 要件に従い、電気および電子製品には、以下の汚染規制管理規則ロゴが付けられます。

環境に優しい本製品使用期間は 10 年です。本製品は、以下に示す通常動作環境では漏出や変異はありません。したがって、この電子情報製品を使用した結果、深刻な環境汚染、身体傷害、あるいは資産に対する損害などが発生することは一切ありません。



動作温度および保管温度: 次のページの表を参照してください。

地域の法律に従って製品の梱包をリサイクルおよび再使用することが奨励・推奨されます。



電源仕様

電気定格

入力	AC 100 ~ 240 V、50/60 Hz
----	-------------------------

動作および保管条件

動作条件

温度	縦方向/横方向/傾斜モード (≤ 15 度): 0°C ~ 40°C テーブルトップモード: 0°C ~ 35°C
湿度	20% ~ 80% (結露なし)

保管条件

温度	-20°C ~ 60°C
湿度	10% ~ 95% (最高湿球温度: 38.7°C)

J-Moss

以下のwebサイトに、J-Moss情報を掲載しております。

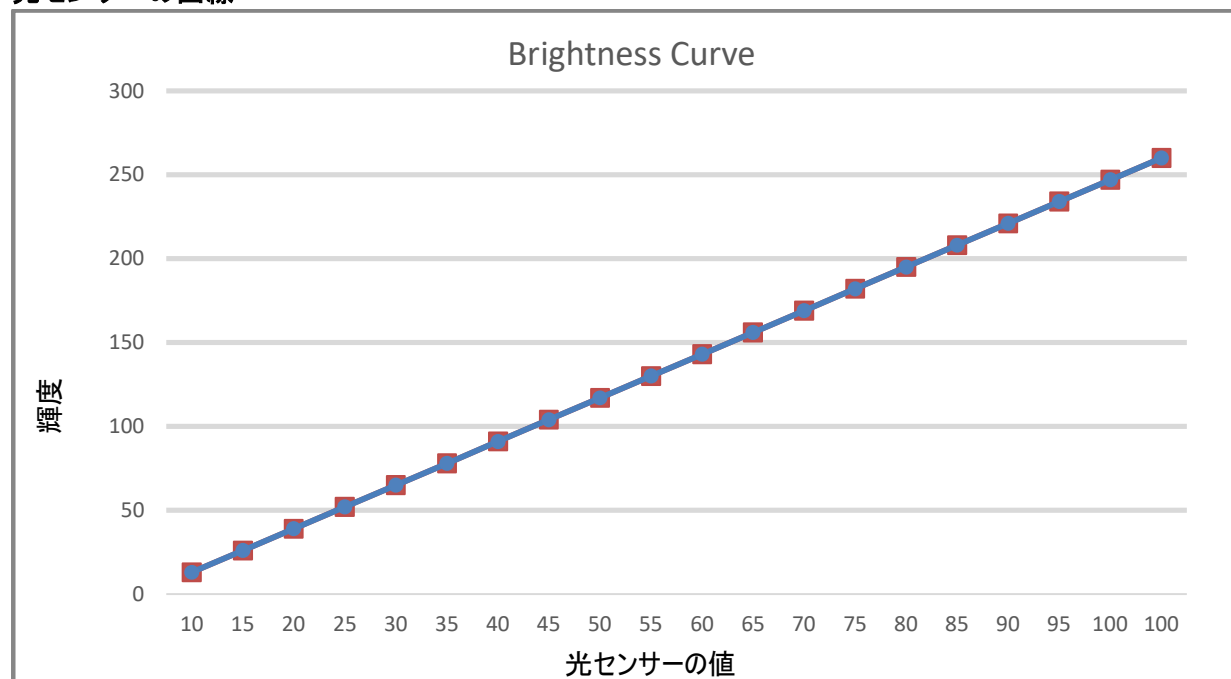
<https://www.tps.co.jp/products/other/rohs>

9 章: 保証内容

保証内容については、<http://support.elotouch.com/warranty/> をご覧ください

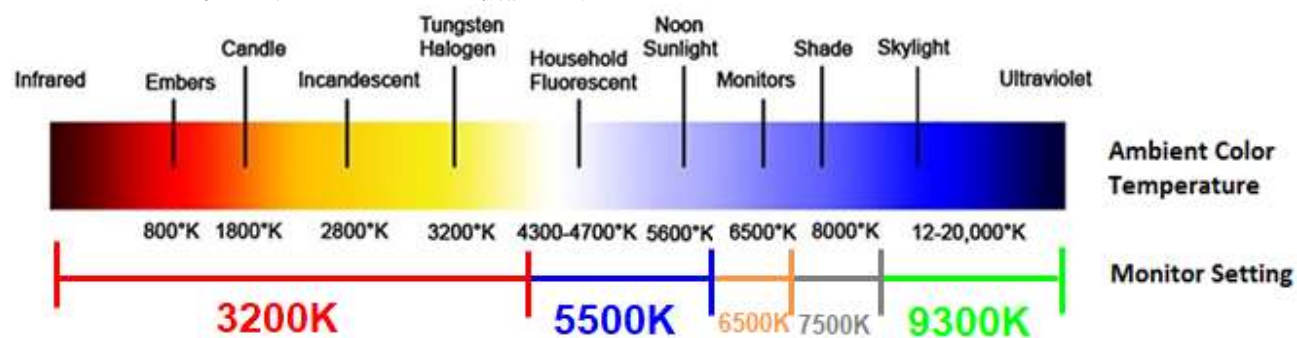
10 章: 付録 A

光センサーの曲線



カラーセンサー

以下のチャートに従って、カラーセンサーは機能します:



以下の最新情報を入手できます。

- 製品情報
- 仕様
- 近日中に予定されているイベント
- プレスリリース
- ソフトウェアドライバ
- タッチモニターについてのニュースレター

お問い合わせ

Elo Touch Solutions社に関する詳細については、弊社のウェブサイト www.elotouch.comあるいはwww.tps.co.jp をご覧いただくか、タッチパネル・システムズ株式会社のオフィスまでご連絡ください。

日本

電話 (045) 478 2161

Fax (045) 478 2180

www.tps.co.jp

北米

電話 + 1 408 597 8000

elosales.na@elotouch.com

欧州 (EMEA)

電話 +32 16 930 136

EMEA.Sales@elotouch.com

アジア太平洋

電話 +86 (21) 3329 1385

EloAsia@elotouch.com

Copyright 2024 Elo Touch Solutions, Inc. All rights reserved. 無断複写・転載を禁じます